

平成27年7月27日

平成27年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第8回 7月下旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵が前年、平年よりやや多く出現した。

前年	平成26年7月15日	(17点の平均)	6.9 個/m ³
前回	平成27年7月2日	(7点の平均)	36.9 個/m ³
今回	平成27年7月24日	(17点の平均)	18.1 個/m ³
※7月下旬の平年値			7.9 個/m ³

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

稚仔魚が前年、平年より非常に多く出現した。

前年	平成26年7月15日	(17点の平均)	0.3 尾/m ³
前回	平成27年7月2日	(7点の平均)	1.0 尾/m ³
今回	平成27年7月24日	(17点の平均)	21.6 尾/m ³
※7月下旬の平年値			1.8 尾/m ³

○プランクトン調査

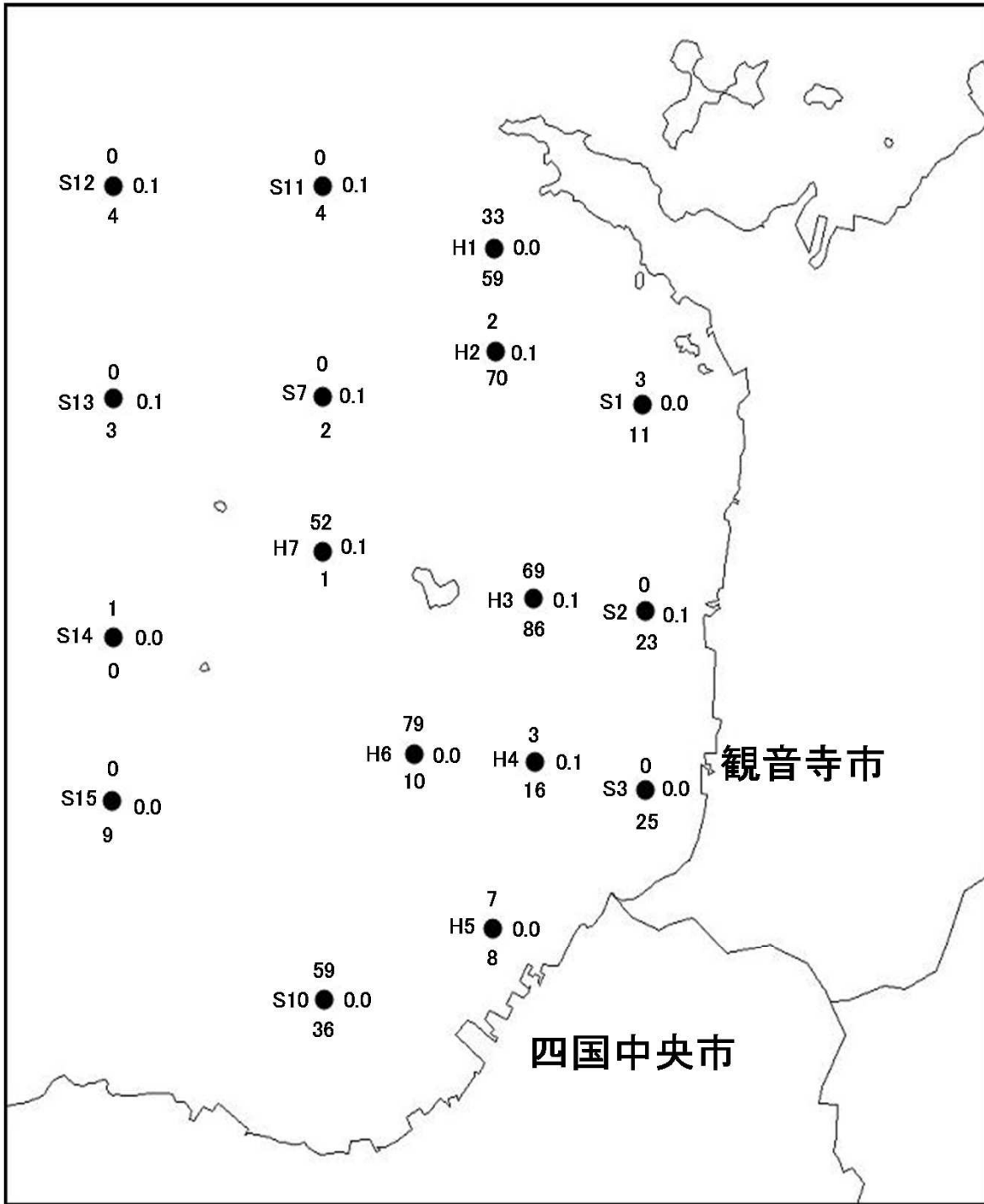
プランクトン量が平年の約3.5倍多かった。(今回平均12.8mL/m³, 平年値3.6mL/m³)
プランクトンのほとんどが、珪藻類(ニッチア)とミジンコ類であった。
カイアシ類は平年より少なかった。

次回の調査は8月4日(火)の浅海定線調査に合わせて実施予定

※今年度から、卵稚仔採集数の記載を、

1曳網当たりから、海水1m³(≒1トン)あたりに変更しました。

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2015/7/24)



●の上側がカタクチイワシ卵数/m³を
下側がカタクチイワシ稚仔数/m³を、
右側がカイアシ類量(ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量

(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

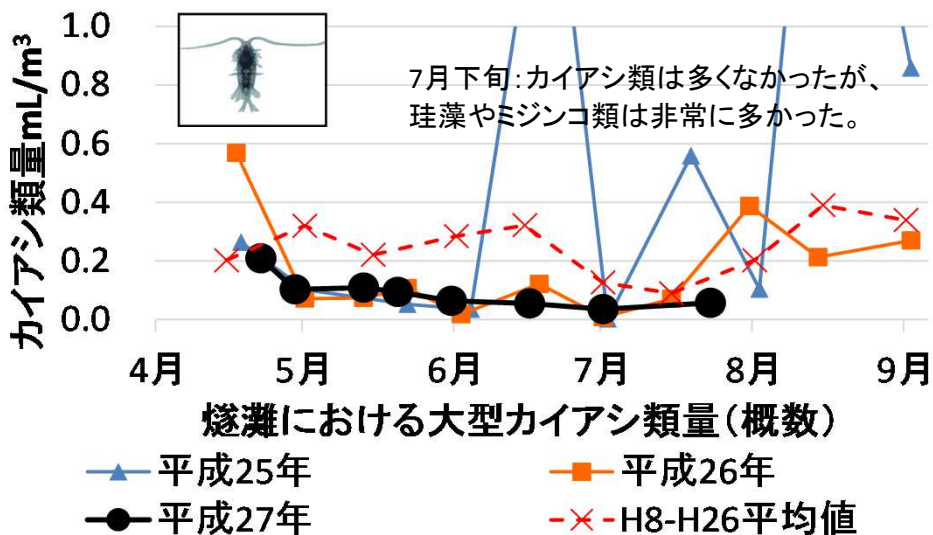
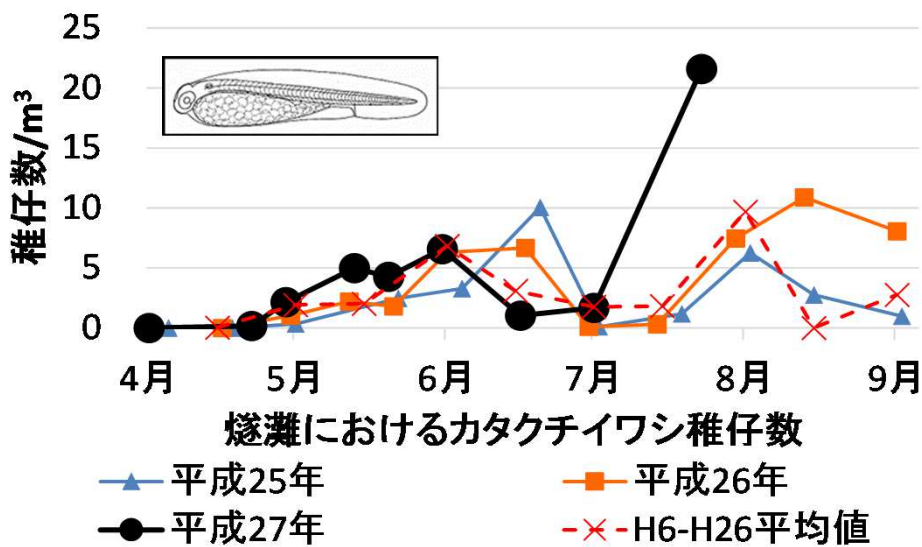
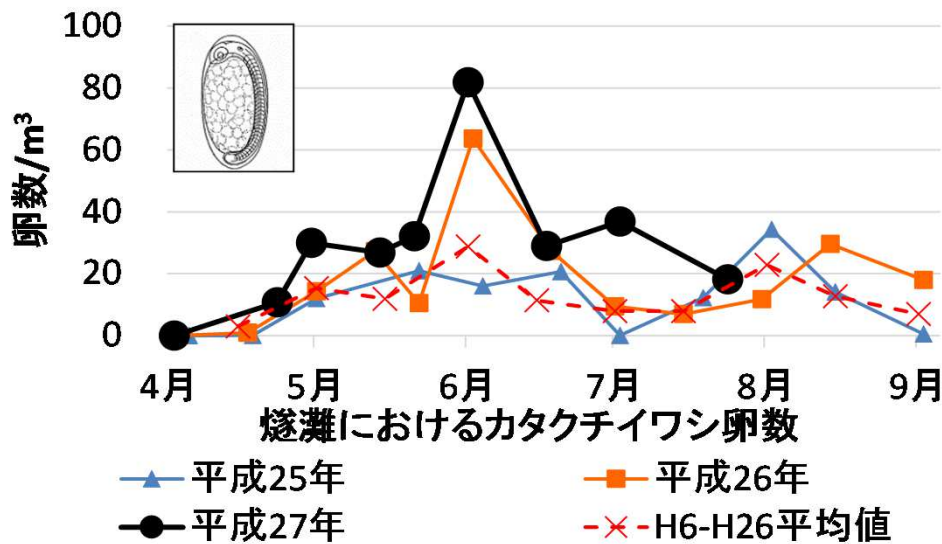
21 ← 卵数
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類量
5 ← 稚仔数

平成27年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(8回目)

調査日: 2015/7/24

S T	曳網水深 (m)	表水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H1	20	26.3	33	0	3	59	0	0
H2	20	26.2	2	0	13	70	0	1
S1	20	25.3	3	0	2	11	0	0
S2	20	26.3	0	0	4	23	0	3
H3	20	26.7	69	0	6	86	0	2
S3	20	26.2	0	0	2	25	0	1
H4	20	26.4	3	0	3	16	0	0
H5	20	25.9	7	0	4	8	0	0
S10	20	26.8	59	0	9	36	0	2
H6	20	26.7	79	0	36	10	0	2
H7	20	25.2	52	0	1	1	0	1
S7	20	25.0	0	0	1	2	0	2
S11	20	25.0	0	0	5	4	0	1
S12	20	25.4	0	0	0	4	0	4
S13	20	25.4	0	0	0	3	0	3
S14	20	25.7	1	0	2	0	0	2
S15	20	25.0	0	0	0	9	0	1
7点平均		26.2	35	0	10	36	0	1
平均		25.8	18	0	6	22	0	2

※なお7点平均は浅海定線調査を行っているH1～H7の平均 ※採集数はm³当たりの数



※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。